長岡地域 まちづくりワークショップ

かわら版

第２号：各地域の宝もの、自慢、個性が見えてきました。

ワークショップのあらまし

平成15年1月に、長岡市・見附市・栃尾市・中之島町・越路町・三島町・山古志村・小国町の8市町村により、**「長岡地域任意合併協議会」**が発足しました。現在、8市町村の代表が、長岡地域の広域合併に向けて、さまざまな協議を進めています。

その中に、合併した場合の8市町村の目指すべき将来像を**「新市将来構想」**として定める作業があります。

「新市将来構想」を定めるにあたり、まちづくりの方向性や地域の将来像について地域の皆さんの意見・要望を反映させるために、地域の皆さんの意向を探る「地域アンケート」の他、**まちの将来像を地域の皆さん同士で話し合って、提案してもらう**目的で、**「まちづくりワークショップ」**を行うことにしました。

新市将来構想策定の流れ

- **地域の皆さんが参画**
  - まちづくりワークショップ
  - 地域アンケート
- 意見反映
  - 現況調査
  - 有識者ヒアリング
- **協議会小委員会で検討**
  - △現状分析…各調査及び情報の整理等
  - △将来性や可能性の検討…８市町村合併による影響予測等
  - △まちづくりビジョンの検討…将来像・基本方針等
- **新市将来構想策定**
  - ○新市のまちづくり基本理念
  - ○各地域整備方針
  - ○新市のまちの将来像
  - ○各分野活動方針

まちづくりワークショップの流れ（第1回～第2回・・・第3回へ）

4月17日に開催された第1回ワークショップでは、「ワークショップの主旨」「メンバーに提案をお願いしたい内容」についての共通認識を持って頂いた上で、参加者自身が進め方を考え、7つのグループ独自の方法で長岡地域の将来像を提案するという、新たな試みでのスタートを切りました。第2回ワークショップでは、メンバーから要望のあった「合併に向けての現状の動きとワークショップの位置付け」「事前アンケート調査について」の説明を事務局から行うとともに長岡地域の将来像を提案していく上での素材となる〈地域の宝もの、自慢、個性〉についてや、グループによっては〈各メンバーが思い描く新しい地域の姿・イメージ〉などについての話し合いが行われました。

第3回ワークショップ（5月13日開催）では〈地域の素材をまちづくりにどうつなげるか〉〈こんなまちにしたい〉など、より具体的な将来像について語り合っていくことになりそうです。

グループワークショップ（4／30）

５／２に都合の悪い人のために一部のグループで４月30日にワークショップを行い、地域の宝物等について話し合いました。

日時：４月30日　18:00～21:00
場所：長岡市役所大会議室
参加グループ：グループ２
グループ３
グループ６
（計19人参加）

グループワークショップの風景

ふりかえりシートより…今回のワークショップで感じたことをまとめました

あなたが今日気づいたことは？

★地域情報聞けて良かった
★長岡市民ですが“自慢”と言われてあまりにも部分的なことしか知らないと反省
★みんな地域に誇りを持っていろいろ考えているなー
★８市町村には地域地域の環境にあった地域おこしがなされ、努力の姿が見られた
★楽しい人が多い。合併したらもっと楽しいなぁ
★わが班は論客が多い
★出席者が少なかったがいろいろ話ができて良かった

あなたが今日うれしく思ったこと、満足したことは？

★私の町の良いところを再確認できて良かった
★各市町村のすばらしい歴史を感じました
★参加者のみなさまが自分の町に自信を持っていること
★皆さんが真剣にお話を聞いてくださり、意見交換ができてうれしく思いました
★みんなの話し合いでワークショップの方向性が見えたこと
★内容・問題が一歩進展全員出席で楽しかった
★レンコンを持ってきてくださった方がいたこと
★行政の方とお話ができたこと

あなたが今日不満に思ったこと、悲しかったことは？

★参加者が少なかったこと
★欠席された方の町の自慢話も聞きたかった
★時間短く感じた
★最初の作業状況・アンケート結果報告は少し眠くなりました。申し訳ありません。もう少しメリハリをつけて報告していただけるよう工夫していただけると楽しく会議も開けるのではないでしょうか
★自分の住んでいるところがよくわからないことが分かった
★主婦なので家事を全部やってこないと出席できないことが少々悲しい
★なかなかビジョン出しまで行かない
★まだちょびっと頑固な人がいること

あなたが今日言い残したことは？

★わが町の自慢…歴史的な箇所が抜けていたように感じます
★もっと自分の市をアピールできるようにしたい
★他の方の話を聞いているとわが町にもあるなと思ったりしたのでもっとおちついて考えたい
★言い過ぎたかなぁ
★沢山あるのでまた次回に
★長岡の産業について世界に誇れる技術
★あめ玉が欲しい

その他

★中之島のレンコン料理ごちそうさまでした
★楽しい会をもっと続けたい
★ビールが飲みたい
★５月13日はグループ発表となっているが発表にかける時間をグループの検討議論に当てて欲しい
★みんな話のベクトルが違う気がする。だからまとまりづらいのか。多様な意見の宝庫でもある（か？）
★次の宿題で頑張るぞ！！

発行・お問い合わせ：長岡地域任意合併協議会事務局
長岡市幸町2-1-1　長岡市役所内
Tel. 0258-35-1122（代表）0258-39-2260, 2227（直通）Fax. 0258-39-2254

第２回ワークショップの様子

日時：平成15年５月２日　19:00～21:00
場所：長岡市役所大会議室／29名参加

プログラム

19:00	開会・前回のふりかえり
19:05	合併に向けた作業状況とワークショップの位置づけ
19:15	事前アンケート結果説明
19:25	グループ討議
20:55	ふりかえりシートの記入・次回案内
21:00	閉会

提案してほしい内容

合併したらどういう地域にしたいか。参加者同士が共有できるテーマについて提案する。

当日の流れ

長岡地域任意合併協議会事務局より、合併に向けた作業状況とワークショップの位置づけ、事前の住民アンケートの結果について説明がありました。

その後、グループごとで前回から引き続いて話し合いを行いました。

OHPで地図を写しだし地域の宝探しをしています。（１班）

グループごとの話し合いの概要

グループ１
各市町村の自慢話の紹介をしました。
●長岡花火
●小国和紙
●レンコン料理　など
～たくさん宝がでました。

グループ２
“地域の個性が生かされる町”をテーマとして、実現の方策を話し合いました。
●意識の改革
●行政制度の改革（地域の自治）
●循環型ネットワーク
●各地域の役割分担　など

グループ３
“世界に向け子供達に誇れる地域”“自慢できる町”に向けてやるべき事を話し合いました。
●地産地消の実践
●文化の交流
●人材育成・交流
●情報発信　など

グループ４
ワークショップが“構想づくりの食材集め”であることを確認し、第一回で提案のあった“パッチワーク的地域づくり実現”への要望を整理しました。
●旧市町村の権限をある程度残して欲しい
●住民参加のあり方
●切実な問題を語り合いたい　など

グループ５
未来にも残していきたい地域の宝物探しをしました。
●都市的な魅力
●山間地の自然の魅力　など
また、まちづくりのキーワードをみんなで出し合いました。
次回は宝をどうつなげてキーワードを実現していくかを考えます。

グループ６
長岡地域がまとまっていくためにやるべき事を話し合いました。
●地域全体のまつり
●ウォークラリー
●米・酒のブランド化
●都市機能の充実　など

グループ７
各まちの自慢を出し合いました。
●魅力あるまちづくりをしてきた歴史
●地域全体のものとして共有化したい
●もっとお互いを知り合う必要　など
次回は“こんなまちにしたい”という夢を持ち寄る。

参加者の方からレンコン料理の差し入れです。